

第33回 日本産業ストレス学会

Psychology, Biology and Technology
産業ストレスの研究と実践の交差点

2025年11月28(金)~29(土)

会場

北九州国際会議場

福岡県北九州市小倉北区

会長

江口 尚

産業医科大学

【大会事務局】

産業医科大学

産業生態科学研究所 産業精神保健学

【運営事務局】

株式会社オービット

〒806-0067

北九州市八幡西区引野1-5-31-101

093-616-1417 (Tel)

jajsr33@orbit-cs.net (Mail)

演題
募集

2025年4月1日~7月31日

<https://plaza.umin.ac.jp/jajsr33/>



第 33 回日本産業ストレス学会のご案内

大会長 江口 尚（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学・教授）

事務局長 真船 浩介（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学・講師）

第 33 回日本産業ストレス学会の開催が、いよいよ 4 か月後に迫ってまいりました。2025 年 11 月 28 日（金）・29 日（土）の 2 日間、福岡県北九州市・北九州国際会議場にて開催いたします。

また、会場での学会開催に加え、オンデマンド配信も予定しております。配信期間は、2025 年 12 月 15 日（月）～2026 年 1 月 18 日（日）です。現地参加が難しい方や、見逃したセッションをご覧になりたい方も、ぜひご活用ください。

今回の大会テーマは、

「Psychology、Biology、Technology：産業ストレスの研究と実践の交差点」

です。産業ストレスという複雑で多面的な課題に対し、心理学・医学・技術の知見が交わる場を提供し、研究者と実務家の対話と協働を促進することを目指します。

本年 5 月には労働安全衛生法が改正され、従業員 50 人未満の事業場にもストレスチェックの実施が義務化されることとなりました。一方で、精神障害による労災認定件数は依然として増加傾向にあり、実効性のある予防・支援策の再構築が求められています。本大会では、最新の研究成果や実践事例を共有し、「これからの 10 年」に向けた新たな展望を見出す機会としたいと考えています。

現在、教育講演やシンポジウムの企画も着々と進行中です。

- ・職域メンタルヘルスのエビデンスを考える
- ・睡眠・生体リズムとメンタルヘルス
- ・ストレスチェック制度のこれまでとこれから～新たな 10 年に向けて～

など多彩なトピックに加え、海外からは、孤立・孤独研究の第一人者であるサラ・ライト先生（カンタベリー大学／ニュージーランド）、ウェルビーイング研究の第一人者であるヤリ・ハカネン先生（フィンランド労働衛生研究所：FIOH）の登壇も予定しています。さらに、産業看護職や産業心理職、人事労務部会など多様な専門職間の交流の場に加え、若手大学院生を対象とした参加特典の導入も検討中です。

また、一般演題も受付中（募集期間延長見込み（2025 年 7 月 10 日時点）：詳細は学会ホームページでご確認下さい）です。産業ストレスに関する基礎・臨床・実践の各領域からのご発表を広く歓迎しております。ご自身の取り組みを共有し、他の参加者との活発な議論を通じて、新たな視点やつながりを得る機会として、ぜひご応募ください。

【取得単位について】

本学会は、日本医師会認定産業医研修会（専門 8 単位、実地 2 単位（申請中））、日本心身医学会認定単位、日本産業衛生学会産業保健看護部会等の単位を申請しています。

【開催地・北九州市のご紹介】

開催地の北九州市は、近代日本の産業を支えた歴史を持ちながら、自然、文化、食の豊かさにも恵まれた魅力あふれる都市です。近年ではその都市力が再評価され、人口転入超過を記録するなど、活気に満ちたまちづくりが進んでいます。学会終了後には、門司港レトロ、小倉城、松本清張記念館、北九州市漫画ミュージアムなどを訪れながら、学びと癒やしのひとときをお楽しみください。

大会長として、皆さまを北九州の地でお迎えできることを心より楽しみにしております。実りある学びと交流の場となるよう、準備を進めております。多くの皆さまのご参加、ご発表を心よりお待ちしております。

【第 33 回日本産業ストレス学会ホームページ】

<https://plaza.umin.ac.jp/jajsr33/>

